

## 広報・教育部門

応募事例名

# 「不可視なインフラ」から『見せるインフラ』へ！

## 下水道事業での3つの取り組み

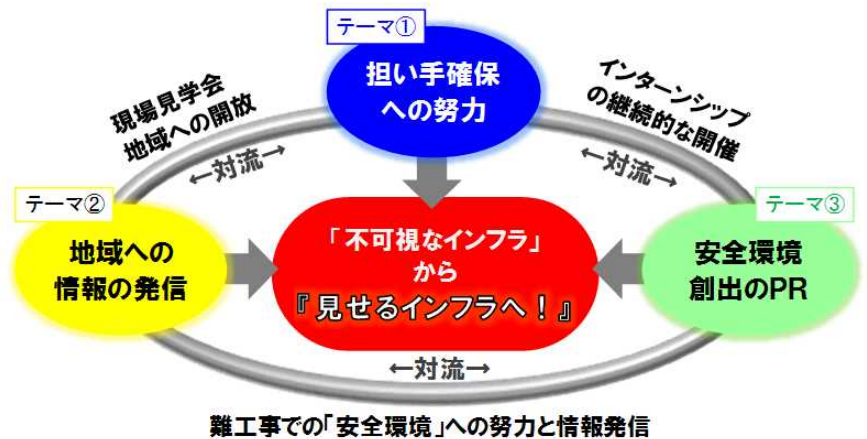
応募団体名) 中林建設株式会社 株式会社タナカコンストラクション 大阪府

### 応募事例の概要

### ～『見せるインフラ』下水道！を意識した徹底的な取り組みを展開～

下水道は、人々の生活や大雨・洪水から地域の安全・安心を守る重要な社会資本である。しかし、地下施設という特性から、下水道は「不可視なインフラ」となっており、事業への理解や担い手確保に向けた取り組みが課題となっている。

そこで大阪府が進める流域下水道のレベルアップ幹線を建設する工事をフィールドとして活用し、**3つの取り組みを対流**させた、官民一体型の活動を展開。下水道を『見せるインフラ』にするため様々な情報を発信した。



#### テーマ① 担い手確保への努力

下水道を題材にした**インフラ教育**と**就業体験**を継続的に開催。必要性和働く魅力と伝えた。(延べ42名参加)



シールドトンネルの見学(大学生)

#### テーマ② 地域への情報の発信

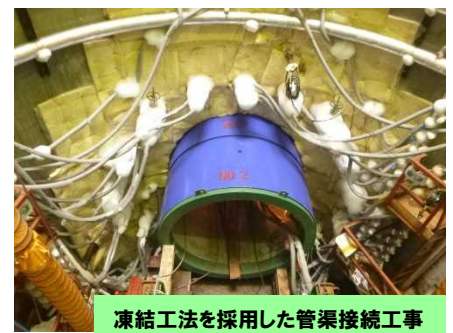
住民や子供、自治体に様々な情報を発信し、「**下水道を知ってもらう!**」取り組みを展開。(延べ122名参加)



こども会向けに開催した見学会

#### テーマ③ 安全環境の創出のPR

活用した高度な建設技術や安全への地道な取り組みにより、どのよう**に安全環境を創出**したかをPRした。



凍結工法を採用した管渠接続工事

#### ■PRポイント

「不可視なインフラ」から『見せるインフラ』へ！この官民一体の取り組みは、工事期間中の延べ2年半に及び、**合計164名**の方々に、ご参加を頂きました。官民が共有した目標を掲げ、両者が一体となり、下水道の**多角的な魅力の発信**ができたものと考えています。建設業を目指す学生が更なる「目標」「興味」「関心」を抱き、地域の方々が下水道を必要と感じ、事業に協力する。今後の工事現場において、下水道の魅力発信に向けたモデルケースとして、非常に効果的な活動となりました。

また、本工事で採用した**安全性に配慮した特殊技術**(圧入ケーソン工法、凍結工法、幹線道路での低土被り推進工法等)のPRにより、**難工事における「安全環境」創出への努力**や取り組みを、多くの人々に発信することができました。

#### ■具体的効果について

テーマ① **担い手確保の努力** : 実施後のアンケートにより、参加した**9割以上の学生**が、**建設業の魅力**や**下水道工事の技術力**の高さに感銘を受けたと答え、建設業で働くことへの「**目標**」「**興味**」「**関心**」が高まった、との回答が得られました。

テーマ② **地域への情報の発信** : 建設業って**カッコいい**と思った(こども会)、**安全**への取り組みや**努力**、**意識**が非常に伝わった(労働基準監督署)、**交通規制の先の仕事**を知り、実践的な交通指導に繋がった(警察)等の回答が得られました。

テーマ③ **安全環境創出のPR** : **安全性**や**周辺環境**に**配慮**した建設技術の採用や、事故防止に向けた**地道な安全努力**により、長期間に及ぶ工事の**安全確保**への取り組みについて、周囲の理解が得られました。